

ひき蛙のトード（凍土）君

18年1月14日

ASN 和田 宏

ひき蛙は英語では t o a d と書きます、我が家にやってくるひき蛙は庭に霜柱が立つ凍土の季節2月の半ばに産卵にやってくるので、凍土と語呂合わせしてみました。中学校で蛙は f r o g と習いましたね、ところで雨蛙は英語で何と呼ばれているのでしょうか？ r a i n f r o g ではないから聞いているのです、 t r e e f r o g と言います、雨蛙は木にとまっていることが多いのでこう呼ばれているのでしょうか、納得です、そして英語国の人々も日本では雨蛙と呼ばれている事を話せば納得してくれると思います、少し面白い話ではありませんか。

ひき蛙は2月に産卵して再び冬眠するのだそうです、5年前の寒い小雨の降る夜の事です、初めてけろけろと楽しそうな蛙の合唱が庭から聞こえて来た時何事が始まったのか直ぐには理解できませんでした、寒さを圧して庭に出てみると写真のような蛙が5-6匹お互いに少し間隔を取ったまま鳴き合っていました、発情期だったのです、これから相性を確かめ合うのでしょうか、小さな池が寒天に覆われたような卵帯(?)で大変な状態になったのは三日目の朝でした、そして庭は再び静けさを取り戻しました。

庭には十年くらい前からガラスの水槽が幾つかありましたがこれらはたなご、メダカ用で蛙には侵入できない高さでした、しかしもう少し大きい水槽が欲しくなって半畳程のFRPの池を設置したのが6年前、次の年からひき蛙の訪問が始まったわけです、ご近所に池が有るかスキャンしてみると100m西の幼稚園に有る、50m東には僅かに水がたまった窪地があるがオタマジヤクシが暮らせる環境ではない、結局家の庭はご近所唯一の産卵可能な場所だったのです。

毎年面白い見物が出来ると喜んだのですが事態は楽観を許さない推移を辿ります、3年目に1匹になって産卵ゼロ、そこで池の周囲のバリアーを調べてみると、西側と南側は塀にドアがあって切れているから蛙君が何とか往来できるが東側は厚さ20cmのコンクリートで完全に塞がれている、これは何とかしなければと、長さ50cmの特性タガネ(鑿)を作って1/2ポンドのハンマーでコンクリート壁に挑戦、トンかちトンかち、遂に拳骨が通るくらいの穴をあけ一本のトレイルは確保した、然し昨年一匹のみ、今年はどうかと心待ちにしている今日この頃です、きっと大丈夫です、何故なら昨年の夏は蛙を発見すると吠え続けるお隣の犬が幾晩も吠えていましたから我がコミュニティー内に何匹かの蛙が居ると考えられるからです。

こう書き続けると皆さんは卵とオタマジャクシのことが心配になるのでは有りませんか？こんなに沢山どうやって生むのだろうと思うくらいの数です、仕方がないので100個位残してあとはバケツに入れて休耕田の側溝でザリガニのいないところを探して放流します、

それでも小さい池に残った100個が100匹の蛙になったら大変だとお考えになるでしょう、当然です、ところがさに非ず、親に比べるとオタマジャクシも小さく4月半ばに小さい蛙になるとそのままの大きさに、ある日突然全てが旅立ちます（写真の通り、巣立つが正しいですか？）池で成長されたらとても面倒見切れませんが、けなげにも小さいまま旅に出て大人になって帰ってくるのでしょ、

昨年の春はオタマジャクシが居ないのが寂しくて休耕田から連れてきたし、これからは継続的に産卵を続けてくれる事でしょう。

ひき蛙が産卵したくなる池はプラスチックの衣装ケースで充分です、庭に埋めて水を張ればOKです、観察するもう一つの方法は夏プラスチックとか木の箱を隙間を設けて地面に伏せておくとひき蛙が住み着きます、どうぞやって見て下さい。

でもやっぱり本物の産卵を観察しましょう、西遠、東三河では葦毛湿原が素晴らしい、沢山のひき蛙が集まります、それを狙う鷹もいて、木道を歩くと無数の卵、食べ残しのひき蛙を見る事が出来ます、しばらくするとオタマジャクシと食虫植物毛氈苔のシーズンです。

2月3月に散策すれば何れかのシーンを見る事が出来ると思います、毎月第一日曜が観察会で説明も聞けます、お勧めします。





当エッセーに対するご意見、ご感想、関連情報を歓迎します。

下記 e-mail でどうぞ。

wada62842@s7.dion.ne.jp 和田